

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		7,210	t-CO ₂
（温室効果ガス削減換算排出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		7,210

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	令和 8 年度		
温室効果ガス総排出量	7,263	t-CO ₂	7,190	t-CO ₂	7,210	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			1.0	%	0.7	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	令和 8 年度		
原単位当たりの排出量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位当たりのみなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和6年度は猛暑期間が長く、熱中症予防対策として庁舎における冷房時間及び冷房期間が前年度より長く温室効果ガス排出量が増加したものの。
--

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネ・節電対策の実施（空調機）	<ul style="list-style-type: none"> ・空調の適温化(冷房28℃、暖房19℃)の徹底 ・北館空調改修の際、冷凍機等可能な限り省エネタイプの設備に取替 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調の適温化は、機械室、留置施設を除き、中央監視により実施する。 ・令和6年度から北館の空調設備 	空調の適温化は、中央監視により実施した。空調改修に伴う省エネタイプの機器は令和7年度より順次設置。
省エネ・節電対策の実施（照明）	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下、トイレ等の消灯（安全確保が前提） ・蛍光灯製造中止に伴い、LEDへの変更を計画的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な場所への節電 ・まずは現在の照明設備状況を今一度確認し、どのようにLED化を進めてい 	支障のない廊下の照明については、蛍光管を外し間引きし、トイレについては使用時のみ点灯としている。
省エネ・節電対策の実施（OA機器等）	<ul style="list-style-type: none"> ・OA機器、電化製品等の使用していない時間帯及び退庁時の電源オフの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない場合の待機電力等の削減化 	コピー機については使用後に節電モードに手で切り替える、パソコンについては未使用時にスリープモードにする等待機電力の削減化に努めた。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度			
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目（令和 6 年度）における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
k1	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 6 年度）における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

コピー機周辺に両面コピー及び2 in 1によるコピーを行うよう掲示し、紙使用量の削減に務めた。
また、「施設だより」を発出し、ゴミの分別基準を庁舎勤務者に示しペットボトルや古紙のリサイクルに務めた。

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

毎週「水曜日」を、定時退社を促すよう「たより」を発出した。